

平成28年度 わかば保育園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

『 やさしい子 げんきな子 笑顔あふれる子 』

- 相手意識・・・あたたかい思いやりをもって、みんなとできる子・かかわり合える子
- 夢中・・・夢中になって遊び、心と体を鍛える子
- 本物・・・創造的な思考・発見の喜びを味わえる子

2. 本年度の重点目標

子どもが人や自然、もの、出来事と関わる中で、その子なりのとらえやかかわりを認め、一人ひとりの子どもに豊かな感性が生まれ、楽しく園生活ができる支援

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・地域の方々と連携して園運営をしていくことの成果は大きい。今後も地域と共に歩める保育園でありたい。
- ・植物や生き物の不思議さをたくさん学んでいる子どもたちである。体験することを大事にしながら子どもの素直さを伸ばすことで感性を磨いていって欲しい。
- ・子どもと職員、保護者と職員の信頼関係を一層大事にしていって欲しい。
- ・行事に追われることなく、一つひとつの行事の大切にしたいところを共有できるようにしたい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・野菜栽培や飼育活動を通して、ものの見方が広がり家庭での会話が増えたという評価を大事に考え、ただ作物を収穫すればいいのではなく、生長に寄与していく中で、子どもの感性を磨くことを大事にしていきたい。
- ・今年度は御柱を通して地域の方とのふれ合いが多くなった。この関係をさらに深めて、わかば保育園らしさを高めていきたい。